

# 貸借対照表

(2023年 3月31日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
<b>流動資産</b>	5,117,205	<b>流動負債</b>	2,894,280
現金および預金	131,240	買掛金	70,526
預け金	425,886	1年以内に期限到来の固定負債	—
売掛金	1,867,617	短期借入金	—
未収入金	37	リース債務	358,724
未収還付法人税等	85,304	未払金	236,438
リース投資資産	792,534	未払法人税等	42,187
棚卸資産	45,222	未払費用	1,450,781
仕掛品	63,135	預り金	14,782
契約資産	1,238,340	契約負債	—
前払費用	470,165	諸前受金	362,122
その他流動資産	1,229	賞与引当金	358,716
貸倒引当金	▲ 3,508	その他流動負債	—
<b>固定資産</b>	2,113,574	<b>固定負債</b>	703,615
有形固定資産	1,322,821	長期借入金	—
土地	417,054	長期リース債務	577,903
建物	250,283	退職給付引当金	27,450
電気通信設備	388,430	役員退職慰労引当金	47,670
工具器具備品	128,385	その他固定負債	50,592
リース資産	128,261	長期繰延税金負債	—
建設仮勘定	10,406	<b>負債合計</b>	3,597,896
無形固定資産	106,422	(純資産の部)	
ソフトウェア	90,953	<b>株主資本</b>	3,631,956
電話加入権	10,247	資本金	200,000
電気通信施設利用権	307	利益剰余金	3,431,956
リース資産	926	利益準備金	50,000
建設仮勘定	3,987	その他利益剰余金	3,381,956
投資その他の資産	684,330	繰越利益剰余金	3,381,956
株式	26,927	<b>評価・換算差額等</b>	925
出資金	10	その他有価証券評価差額金	925
長期前払費用	94,533	<b>純資産合計</b>	3,632,882
敷金	85,532		
長期差入保証金	6,439		
前払年金費用	358,575		
その他の投資等	18		
長期繰延税金資産	112,293		
<b>資産合計</b>	7,230,779	<b>負債・純資産合計</b>	7,230,779

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示している。

# 損益計算書

2022年 4月 1日から

2023年 3月31日まで

(単位:千円)

科 目	金 額	
売 上 高		10,022,962
売 上 原 価		8,538,523
売 上 総 利 益		1,484,438
一 般 管 理 費		866,812
営 業 利 益		617,626
営 業 外 収 益	657	
受 取 利 息 ・ 配 当 金	24,523	25,180
雑 収		
営 業 外 費 用	2,019	
支 払 利 息	10,674	12,693
雑 損		
経 常 利 益		630,113
税 引 前 当 期 純 利 益		630,113
法 人 税 等 調 整 額	186,049	
法 人 税 等 純 利 益	9,537	195,586
当 期 純 利 益		434,527

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示している。

# 個別注記表

2022年 4月 1日から

2023年 3月31日まで

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) 有価証券の評価基準および評価方法

その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

……… 時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

市場価格のない株式等

……… 移動平均法による原価法

### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品

………

先入先出法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価引下げの方法）

商品・仕掛品

………

個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価引下げの方法）

### (3) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産（リース資産を除く）

………

定率法

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物および2016年4月1日以降に取得した建物附属設備・構築物については定額法

無形固定資産

自社利用のソフトウェア

………

利用可能期間（5年）で償却

リース資産

所有権移転外ファイナンスリース取引に係るリース資産

………

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

### (4) 引当金の計上基準

貸倒引当金

………

債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、破産更正債権等特定の債権については個別に回収の可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金

従業員賞与引当金

……

従業員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額を計上しております。

役員賞与引当金

……

役員の賞与の支給に充てるため、支給見込額を計上しております。

退職給付引当金

従業員退職給付引当金または前払年金費用

……

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき計上しております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の年数（5年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

なお、当事業年度末日では、年金資産が退職給付債務を超過しているため、当該超過額を前払年金費用に計上しております。

役員退職慰労引当金 …… 役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(5) 収益及び費用の計上基準

受注製作のソフトウェア開発又は保守サービスに係る履行義務は、一定の期間にわたり履行義務を充足する取引であり、履行義務の充足の進捗度に応じて収益を認識しております。

商品等の販売に係る履行義務は、商品等を引き渡す一時点において、顧客が当該商品等に対する支配を獲得し充足されると判断し、引渡時点で収益を認識しております。

また、商品販売等における役割が代理人に該当すると判断した取引については、純額で収益を認識しております。